

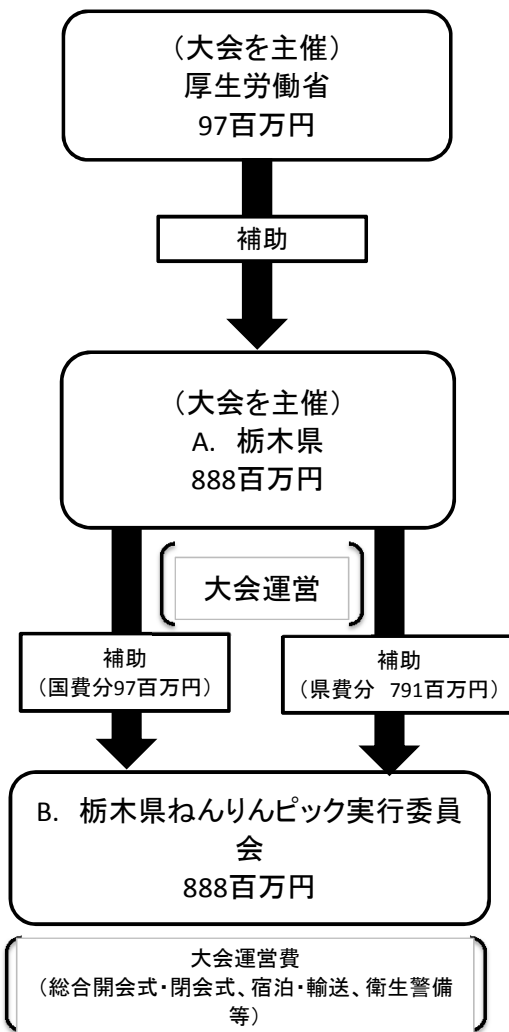
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	全国健康福祉祭事業費			担当部局庁	老健局		作成責任者	
事業開始年度	昭和63年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	振興課		振興課長 辺見聡	
会計区分	一般会計			政策・施策名	IX-3-1 高齢者の介護予防・健康づくりを推進するとともに、生きがいづくり及び社会参加を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	全国健康福祉祭開催要綱 (昭和62年10月17日厚生省発政第22号)			
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、全国健康福祉祭の実施を支援することにより、健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発活動の展開を通じ、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国健康福祉祭開催地都道府県が行う、以下の全国健康福祉祭及びこれに関連する事業に要する経費を対象として助成する。 ①健康関連イベント(スポーツ交流大会、健康づくり教室、新しいスポーツの紹介、健康フェア等) ②福祉・生きがい関連イベント(美術展、囲碁大会、将棋大会、俳句大会、地域文化伝承館等) ③健康、福祉・生きがい関連イベント(シンポジウム、健康福祉機器展等)							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	206	107	97	97	97	
	執行額	206	107	97				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	全国健康福祉祭参加者数の増加(観客を含む)	全国健康福祉祭参加者数の増加(観客を含む)	成果実績	人	511,300	396,500	413,300	
			目標値	人	450,000	400,000	500,000	500,000
			達成度	%	114%	99%	83%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	スポーツ交流大会、ふれあいスポーツ大会、文化交流大会及び共通イベント等数	活動実績	種目	33	37	50		
		当初見込み	種目	33	38	50		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:「交付決定額(百万)」/Y:「参加者数」		単位当たりコスト	円/人	403	270	194	
			計算式	X/Y	206/511,300	107/396,500	97/500,000	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:「交付決定額(百万)」/Y:「件数」		単位当たりコスト	円/種目	6,242,424	2,891,892	1,940,000	
			計算式	X/Y	206/33	107/37	97/50	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	補助金	97	97					
	計	97	97					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	今大会で27回目を迎え、年一回のイベントとして国民に定着しており、ニーズを反映している。今後も国費を投入して大会を継続していくべきである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国は主催者の1つである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	全国健康福祉際は高齢者を中心とする国民の健康の保持、増進等を目的とした事業であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	例年、開催都道府県等で構成される実行委員会が運営を行っており、地方公共団体と同等の合理的な支出が行われている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	大会の開催費用に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	見合っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み通りの実績である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	大会報告書、記録映像等を作成、後催県にも情報提供している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っており、国庫補助金の精算に当たっては、実績報告書により、事業実施状況、支出内容・額などについて確認している。			
	改善の方向性	また、26年度の活動実績を見ると、当初の見込み通り活動実績を挙げているため、今後も予算の執行状況を踏まえつつ、適正な執行及び予算額の確保を図る。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	529	平成23年度	482	平成24年度	425
平成25年度	812	平成26年度	814		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A. 栃木県			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
負担金	実行委員会への負担金	888			
計		888	計		0
B. 栃木県ねんりんピック実行委員会			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
負担金	大会の開催経費	888			
計		888	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栃木県	実行委員会への負担金	888	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栃木県ねんりんピック実行委員会	大会の開催経費	888	-	-